※令和３年度以前入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅰ」（光村出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰでは小中学校で学んだ書についての知識・技術を基本とし、漢字・仮名・篆刻・漢字仮名混じりの書の分野について学習します。
・歴史的な作品だけでなく、現代の身の回りにあふれているさまざまな場面での書の技法についても学び、自らも独創的な作品を作成します。
・用具についての基礎的な知識や管理方法などについても学びます。

２　学習の到達目標

書道Ⅰで学んだ内容をもとに書に関する興味・関心を育てるとともに、伝統・文化についての理解を深め、生涯にわたって書を学び続ける姿勢を持つ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 作品提出	観察 ワークシート 作品提出	観察 ワークシート 作品提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	書へのいざない	・書写と書道 ・用具、用材 ・姿勢	○ ○ ○			○ ○ ○	a:書写と書道について学び、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:小中学校時の基礎・基本を踏まえ、表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している。 d:書について関心を持ち、書の歴史についての知識を習得している。	観察 ワークシート
	漢字の書	・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・蘭亭序		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:さまざまな楷書・行書の古典の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている b:楷書・行書の構築的な構造や変化や統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している c:楷書・行書の基本的な点画や線質の表しかた用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ表している。 d:さまざまな楷書・行書の古典の美とその技法について理解している	観察 ワークシート 作品提出
後期	仮名の書	・仮名の成立 ・変体仮名、連綿 ・いろは歌 ・創作(短冊)	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:仮名の成立と平安古筆の美に関心を持ち、表現技法を高めようとしている b:日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している c:運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その技法を身につけ現している d:仮名の成立と平安古筆の美について理解し、基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解している	観察 ワークシート 作品提出
	漢字仮名混じりの書	・字形、書風、墨色、線質、全体構成 ・創作(カレンダーか色紙額)	○ ○	○	○	○	a:漢字仮名混じりの書の表現に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる d:自己の独創的な表現のねらいを達成する為に工夫している c:古典のよさや美しさを生かして表現する技能を身につけ表している d: 古典のよさや美しさを生かした表現や、漢字と仮名の調和した表現について理解している	観察 ワークシート 作品提出

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
　　c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。